



桜井民報

2023年7月 第94号
編集・発行：日本共産党桜井市委員会
桜井市粟殿588-7 かじ結花事務所
TEL/FAX:0744-46-4930



「住んでいてよかった」と心から思える桜井市に

ゆいか
かじ結花

ごあいさつ

日本共産党の鍛冶結花です。
4月に行われた市会議員選挙では市民の皆様にも市議会へ押し上げて頂き、ありがとうございます。
市民の声が届く市議会をめざし、公約実現に向け、全力でチャレンジしていきます。

わたしは作業療法士として22年間、障がいを持つ子どもたちの個性豊かな育ちを願ってリハビリと家族支援に携わってきました。その経験を生かして子どもも、若者も、高齢者も、そして障がいを持つ方も、誰もが大切にされ、住んでいてよかったと心から思える桜井市をめざして、皆様と共に頑張ります。
お困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願ひします。

5月から6月にかけて市内の公立保育所をすべて訪問させて頂きました。所長さんと懇談し、保育所の現状などについて説明を受けました。

放置できない老朽化

○雨の日は乳幼児の部屋や廊下で雨漏りする。お迎えに来られた保護者の方が廊下を通られる際に雨漏りの水で足がぬれてしまう



天井にカビ・雨漏りする医務室

被害を受けるのは大切な子どもたち

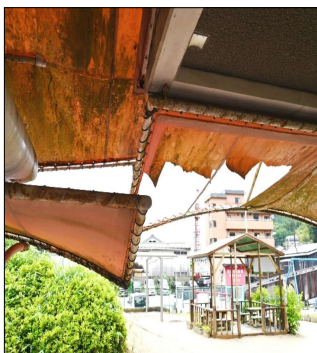
○子どもたちを休ませる医務室が雨漏りで使用できず、職員室のソファや床に布団を敷き対応している

かじゆいかが考える課題

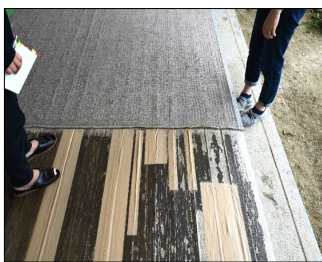
子どもたちに安全で豊かな保育を保障するために、保育所の老朽化への対応は「待ったなし！」です。

保育士さんたちは、バケツを出して雨漏りを受け、百円ショップを利用して壁紙を補修し、壊れた換気扇を自力で取り替えるなど、子どもたちのために日々努力していただいていることも知りました。

かじゆいかの「駆けめぐり聴きめぐり」の記



腐食と破れが酷いテント



廊下をガムテープで補修

市は現在の市立幼稚園と保育所を統合し、最終的に3つの認定こども園を設置する計画を進めています。これでは、

- ①通園区が中学校の通学区より広くなります。
- ②一園の定員を最大300人としており、乳幼児を保育する場としては、規模が大きすぎます。
- ③その他にも課題が山積



○総務委員会のご報告
次の2点について質問と要望を行いました。

令和5年度・一般会計補正予算
一住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金と、電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を、対象世帯に届けるためにどのようなPRをされたのか

【回答】いずれの給付金も家計が急変することによって家計急変世帯にも支給することとされており、市で把握できない非課税世帯については、各世帯にすべて郵送、家計急変世帯はホームページや市の広報誌等で広報している、

会計年度任用職員の給料等に関する条例の一部改正について
会計年度任用職員の給料及び報酬額が引きあがるが、他市と比べてもまだ真ん中ぐらいで、低い。
最低賃金が時給1500円となるよう、私自身も国に要求していきたい、
市として今後も賃金引き上げに尽力を求めます。

一般質問 6月議会

日本共産党の鍛冶ゆいか議員は6月定例市議会で、①公立保育所の老朽化問題、②認定こども園の設置問題、③5類移行後の新型コロナ対策、について一般質問を行いました。

保育所老朽化への対応は一刻も放置できない課題

保育所の老朽化を市は今まで放置してきたのではないかと一言わざるを得ない。市長の現状認識を伺います

【市長】担当課が定期的な点検を行い、現場の要望等に応じて修繕などを行っている。また、私と副市長が各保育所を巡回した際、現場確認を行い、担当課に修繕の指示を行っている。

市は計画的なメンテナンスを行ってきたのか。また、優先して実施すべき課題等についてどう考えているのか

【福祉保健部長】劣化度調査の結果をもとに、改修などの優先順位の設定を行っている。長期的なメンテナンスは、中期財政計画に上げていく。

中期的には電気、空調、給排水や消防設備などの維持管理を定期的に実施している。

短期的には、日々発生する不具合、故障などに迅速に対応している。

災害時に備え特別予算を組むなど修繕や耐震化など早急に実施すべきと考えるがどうか

【市長】予算もしっかりとつながら対応していく。子どもたちの安全を最優先とする保育を実施してまいりたい。

認定こども園のメリット・デメリットは



市の「基本方針」では「就学前の教育と保育を同一施設で行うことのメリットを生かし、切れ目のない教育保育を実施する」とある。メリットとは何か、デメリットはないのか

【市長】メリットは①保育と教育の両方を受けることができる②同年複数クラス編制で多様な育ち合いができる③就労状況等が変化しても継続利用できる④幅広い年齢での交流ができる。

デメリットは、①利用時間の長短に応じた子どもへの配慮が必要②子どもによつては通園距離及び時間が長くなる。



「施設遠隔化による通園不便などサービス水準が著しく低下しないよう」とあるが、その判断の基準は

【市長】現状の保育所・幼稚園の登校園の方法と駐車場施設を基準としている。通園に係る利用者ニーズの把握を行い、施設整備には十分な対策を図る。

定員300人規模としているが、大規模化による問題点などをどう考えているのか

【市長】現状のサービスの低下させない認定こども園の開園に向け、取組みを進めたい。次年度以降には利用者向け説明会を開催させていただく。

【福祉保健部長】保育園利用のみの子どもと、早朝延長保育を利用する子どもが一緒に過ごすことになる。登園・降園時間の異なる子どもたちの保育に苦心しているとの意見がある。

新型コロナが第5類に市としての対応は

新型コロナの第5類移行による市の対応の変更点は何か

【市長】中止した対策は、公共施設等の利用者のマスク着用、感染判明時の職員の措置など。継続している対策は、公費負担によるワクチン接種など。

【福祉保健部長】国が介護サービス事業所等に配布していた抗原検査キットは、5類感染症へ移行後は廃止された。国や県の補助がない中、抗原検査キットの介護サービス事業所・施設等への配布は難しい。

病院や福祉施設への市独自の支援策の実施、市から国や県への支援要請が必要と考えるが、市長の考えを伺います

【市長】国や県に対する要望については、感染拡大状況等に応じて検討してまいりたい。

市としては特別養護老人ホームやグループホームなどの高齢者施設でのワクチン接種を実施してまいりたい。



6月定例議会会で初質問に立った鍛冶結花議員は、写真を示しながら公立保育所の老朽化について取り上げました。

「この現状をどのように認識されているのか」という鍛冶議員の問いに対して、松井市長は令和10年に開設を予定している「認定こども園」の新設により、保育環境を充実していきたいと答弁。

鍛冶議員はこの答弁に対して、「安全面で問題がある状態を開設までの期間、放置しておくのか」「いつ起こるか分からない地震災害に備え、安全面を最優先すべきではないのか」と厳しく迫りました。

市議会傍聴記 かじ結花議員の初質問 ー保育所の実態を示して追及ー

このようにやりとりを経て、最終的に松井市長は

「しっかりと対応していかねばならないし、予算もつけていきたい」と答弁。保育所の老朽化の実態と関係者の声をもとにした追及が前向きな答弁を引き出す力になったと感じました。(T・Y)

市内の小学校の全校児童数				
桜井	178	三輪	190	
城島	350	織田	141	
安倍	303	纏向	146	
朝倉	157	桜井西	394	
大福	353	桜井南	300	
初瀬	49	(2023年5月現在)		

※全校児童が300人を超える小学校は半数以下。